

祝成人式 222人が新たな門出

1月11日松尾地区で、222人の新成人が成人式を迎えた。粉雪の舞う中、新成人らは久しぶりに会う旧友らと笑顔で話したり写真を撮り合ったりした。式典で、常盤太鼓「心 SHIN」が祝いの演奏を披露し、祝辞では小木曾まちづくり委員会会長が「リニアが通る12年後には、皆さんも立派な社会人になって活躍していると思う。飯田を背負って世界に羽ばたく人材が一人でも増えれば、誇らしく思う」とエールを送った。



未来へ羽ばたく新成人



発行所
飯田市松尾公民館
編集人
松尾公民館広報委員会
印刷：龍共印刷株式会社

成人式実行委員 新井区 山崎莉加

松尾地区の成人式が終わり2カ月が経ちました。旧友にも出会え、昔の出来事を語り共に笑い合った時間が最近のことのように感じます。

私は成人式を終えて、誰よりも喜んでくれた両親や成人式の進行を手伝ってくださった皆様、角田公民館長様を始め関係者の皆様、お祝いの言葉をかけてくださった地域の方々など、多くの方々の支えがあったこの日を迎えることができたのだと感じました。

成人式を迎えたとはいえ、未熟な面が多くあります。自身の力で乗り越えられるよう、ご指導をよろしくお願いします。そして乗り越えられる力がついた時、今度は私たちが次の世代を支えていきます。今後は社会人として積極的に地域の活動に参加して、少しでも地域に貢献できればと思います。

人物さんぽみち 106

城區 市瀬早希さん (25歳)



長野県代表決定

ミス・ユニバース・ジャパン長野県代表に選ばれた市瀬早希さんは中学・高校とバレーボールで鍛えた身長172センチの八頭身。部活をやっていた頃は、朝食にカレーライスを3杯食べていましたが、この半年で食生活もすっかり変わりました」と笑顔で話す。長野県大

会の前には1カ月前に及ぶアップセミナーが行われ、料理の鉄人や宮里藍専属トレーナー、筋肉番付の池谷直樹、三四六など著名人から講義を受けた。三四六の講義で「挑戦することが大事なことで、成功か成長か」の話があり、改めて挑む決意を固めた。

「今、松尾の皆さんの励ましが、私の支えになっていきます」と語る早希さんからは代表のオーラが感じられた。



ウォーキングからのポージング(公民館にて)



館長こうら

日だまり歳時記

した。自分の俳句が鮮明に生まれ変わるたびに、嬉しい思いとともに、更に精進しなくてはと気持ちが引き締まりました。栗津先生は、自然豊かな信州飯田へ何度もみえました。その都度、私も案内役として一緒に、親交を持たせていただきました。

残念ながら先生は平成17年に92歳で他界されましたが、自然を愛する温かい人柄は、俳句の師匠としてのみならず、人生の師匠として、今でも私の礎となってくださっています。その教えを胸に、生涯を通して俳句の勉強を続けていきたいものです。



天竜峡にて、松彩子先生とともに

季語【春】

春浅し・啓蟄・朧・東風・山笑う・残雪・春眠・初午・お水取り・鶯・雲雀・若鮎・梅・桜など
皆さんも、季語を使って俳句をつくってみませんか。

休日の午後
のんびりして
ると携帯のメ
ル着信が鳴った。
何だろうと確認
すると、飯田市
からの「行方不明者手配の
メールであった。ここ数年
増えてきた印象がある。そ
れも60代70代が増えた。行方
不明になった原因はメール
には書かれていないが、認
知症なのかと想像してしま
う。認知症が原因と思われ
る高速道路の逆走事故、徘徊
による鉄道事故も発生して
いる。早く見つかって保
護されるよう願うばかりで
ある▼確かに昔も表現は異
なるが「ボケ」てしまった
高齢者の方はいたが、これ
ほど問題になっていなかっ
た気がする。この地域でも
核家族化が進み高齢者のサ
ポートが難しい環境とな
り表面化しただけかもしれない。
10年後には高齢者の5
人に1人が認知症となり、
予備軍である軽度認知障害
を含めると3人に1人とな
る恐ろしい推測がされている。
親も心配だが自分も人
ごとではない。厳しい現実
である▼認知症の人への基
本対応姿勢は3つの「ない」
だそうだ。①驚かせない②
急がせない③自尊心を傷つ
けないである。忙しい毎日
の中では意外と難しい注文
であるが、心に余裕を持ち
対応していきたいものであ
る。

松尾の人口

男子 6,147人
女子 6,871人

計 13,018人
世帯数 4,856世帯
2月末現在

松尾地区文化祭 文化の粋が結集

芸達者が大集合

1月31日・2月1日、松尾地区文化祭が開催された。文化展では松尾小学校児童の作品から各分館展示作品まで多種多様な力作を展示。

芸能発表会では、インフルエンザの蔓延で2団体が出演を取りやめたものの、実に32団体による歌やダンスなどが披露された。



ハワイアンフラ



民謡「チャグ チャグ 馬こ」



上溝囃子屋台保存会



カナホナ・ヒリカイ



ダンスサークルY-SPIRITS



海のお囃子



芸能発表会

区長さんがパフォーマンス



悠鳳会の「ありのままにLet It Go〜」



聖クララ幼稚園「おとにのせて〜」



ダンススポーツ「踊り始めはリズムから」



松舞会の「竹」



レイアナ・オ・マノア

今年も大勢のご参加ありがとうございました。過去最多、30団体を超える参加のあった芸能発表会、4回目を数える立川談四楼落語会、今年度はじめて行ったテックレンジャーショー、いずれも大勢の皆さんの楽しい笑顔が溢れる企画となりました。また、分館展示も会場溢れんばかりに各分館の力作が展示されました。来場された皆さんばかりでなく、陰で文化祭の運営にご協力下さった皆さんにも紙上を借りて感謝いたします。



文化委員会
丸山基治委員長

今年も恒例の文化祭が盛大に開催されました。大勢の皆さんに参加いただき、また、出品展示等ご協力をいただきました。地区内には、様々な趣味、技能をお持ちの方々が多数おいでになり、松尾の力を改めて実感したところです。毎年感心していることは、芸能祭に出演される方々の趣味の域を超えていると思うような精進ぶりです。

実行委員はじめ、ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。



まちづくり委員会
小木曾博人会長



まわすとどんな色になるんだろう

*出張サイエンス(寺所区) 1月25日松尾小学校PTA 寺所支部による「こども新年会」が寺所コミュニティ消防センターで行われ、子供33人、大人10人が参加した。出張依頼を受けた松尾サイエンスが「コインを貫通するペン」や「消える水」のサイエンスショーを行い、全員でCDとビー玉を使ったコマを作って科学の不思議を楽しんだ。



がんばってつぶすよ

*まけるな農園収穫祭 2月21日にまけるな農園収穫祭が松尾公民館で行われ、親子11人が参加した。午前中は農園で採れた大豆を使い、豆もち、マシユマロコーンフレークなどを作った。午後は毛賀の「まめの会」の会員が講師となって味噌作りを体験した。味噌の出来上がりは10月の予定。

ふれあいひろば

*天竜川環境美化活動



がんばってたくさん運ぶぞ!!

松尾図書館

(公民館2階)

開館日 水曜 午後 1 ～ 5 時
土曜 午前 10 ～ 午後 5 時
日曜 午後 1 ～ 5 時
本のリクエストも受けつけています。



3月7日松尾マレットゴルフ場付近の河川敷において、天竜川環境美化活動が行われた。当日は、時折小雨の混じる天気であったが、緑ヶ丘中学校生徒47人を含む区民約400人の参加があり、刈り取った枯れ草や雑木の焼却処分やゴミ拾いを行った。

文化展も企画も盛り上がる



ハイ、それでは出発進行



どんな感想を言っているのでしょう



どう？



おもしろ科学教室「ミラーボックスを作ろう」



力作が並ぶ



ポップコーンはいかがですか？



見る側も真剣です



目指すは未来の消防士



まつお新聞に興味津々



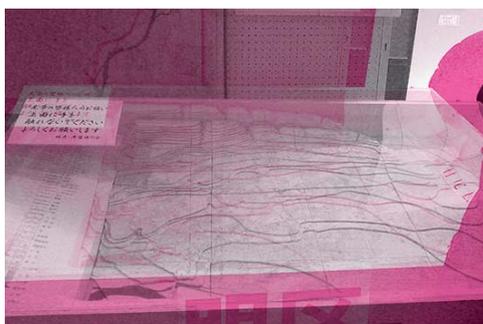
上手く出来るかな？



クイズラリー、答えをさがして

今年も大好評クイズラリー！

昭和14年に測量され昭和17年に印刷された松尾村の地図を基に縮尺2500分の1にして明区両壁俵の会により作られた模型である。文化祭分館展示で披露され、松尾公民館ロビーに現在も展示中である。当時の松尾に思いを馳せてみてはいかがだろう。



今よみがえる昭和14年当時の松尾の地形

この企画は、落語会には比較的年配者が集まるが、集客年齢をより幅広くしたいという文化委員会の思いと、今年の文化祭テーマ「集える文化祭」のつとつたものである。



力を合わせて戦うぞ～！

松尾公民館にテックレンジャーがやってきた



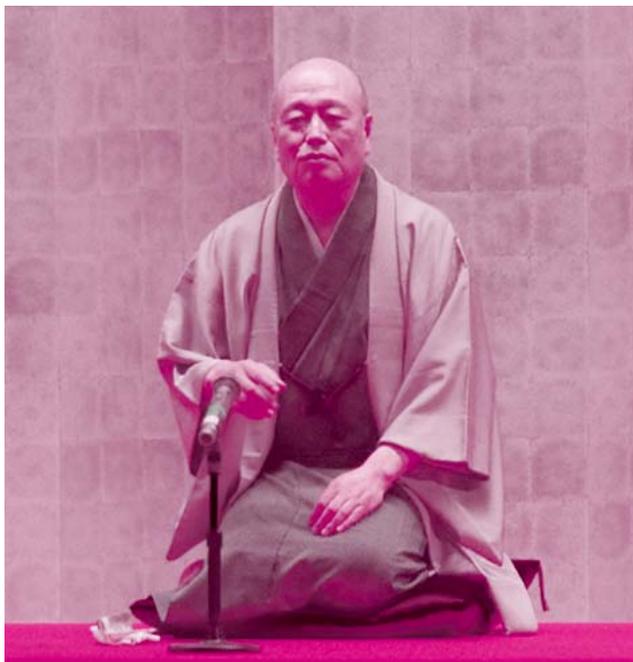
3月7日松尾公民館で、松尾小学校3年3組「SUN☆SUN劇団」による『人形劇・オオサンショウウオのいる学校』のファイナル公演が行われた。この人形劇は、昨年の人形劇フェスタに公演したものが好評で、当初は1回の予定であったが、各地区の公民館や保育園など、これまで8回の公演を行った。今回は最後ということもあり、会場には観客およそ300人が集まり満員の中の公演となった。

◎ご意見募集
まつお新聞に関してご意見をお寄せください。
松尾公民館
TEL2210091



みんな大好きオオサンショウウオ

劇のきっかけは、「96年前、当時の松尾小6年生が修学旅行でオオサンショウウオと出会い、連れ帰って学校で飼いだした。それから85年間、3代に渡って学校で飼育されてきた。今はもういないが、松尾小のシンボルとして学校の玄関に液体標本が飾られている」と同校の北澤彰利校長から聞いた子供たちが「人形劇にして大勢の人に知ってもらおう」と決めたことだった。ミュージカル仕立てで、脚本は北澤校長が、作詞作曲は担任の下平裕子教諭が手がけ、衣装や人形作りなどは保護者の協力を得て子供たちが自分たちで行った。



1月31日、松尾での公演 語会が松尾公民館ホールで4回目となる立川談四落 開催され、200人以上の

立川談四落 落語会開催

落語ファンで満席となった。前座は、土曜笑学校で練習を重ねている参流亭峻之介君(上郷小学校4年生)による「桃太郎」。桃太郎の話聞かせて、子どもを寝かせようとする父親と、眠くないという子の掛け合いが面白い。次は、立川たん子が、鶴が「つる」と呼ばれるようになった由来を一席。談四落の1席目は、拾った3両を巡り、落とし主と拾い主で揉めた挙げ句、大岡越前が1両足して2両ずつ両人に渡す「三方一両損」。2席目は、太鼓持ちの久蔵が富くじを買い神棚に供

え、留守中に火事になり一攫千金の夢は消えたか。に思えたが神棚は無事で、千両得た「富久」。希望と絶望が交互に訪れる起伏に富んだ緊迫感を溢れんばかりの感情表現で熱演し、観客を惹きつけた。下伊那には年に1度は来る談四落、5回目の公演が楽しみだ。



土曜笑学校で修行中

飯田市民館大会

1年間の成果を確認

2月15日飯田市民館大会が飯田市民館で行われた。これは1年間の公民館活動の成果を確認する機会として、また公民館のあり方を考える機会として毎年開催されている。

基調講演

〜ないものねだりから

あるもの探しへ

冷蔵庫を開けて「あれがないこれがない」で料理をするのは二流、「あるもの」で料理をするのが一流と話すのは、基調講演講師の吉本哲郎氏。元水俣市役所職員で、長年公害による風評被害にさらされてきた水俣市再生のため住民参画住民主体の地域づくりに関わってきた。

「水俣にはいろんなものがあるね、いい水や山の恵み、職人や達人とかね」あるものを組み合わせていくこと、それが「地元学」。二点突破全面展開の考え方からどのように持続可能な地域づくりをしていくかを学ぶ機会となった。

この後6分科会に分かれてグループ討論を行った。はじめに、上郷下黒田北分館で活動する「いいこの家サロン」のスタッフより発表があった。同会は高齢者へ集いの場を提供することを目的とし、月に2度食や合唱、保育園児との交流などで集まり、親睦を深めている。運営面・資金面で行政に頼らない自主活動で、立ち上げから8年目を迎える。参加者もスタッフも高齢であるが、それぞれが自分たちの居場所作りにつなげている。

第3分科会

「子供を育む地域の力」

「子供を育む地域の力」をテーマに2つの話題提供がされた。小学5・6年生27人が共同生活を送りながら学校に通う「川路通学合宿」では、保護者から、お皿も洗ったことのない子が親元を離れて大丈夫だろうかと心配したが、実は自分が子離れしていなかったなどの感想が寄せられたという。グループ討議では少人数だからできるという意見もあり、大きな地域ではどうだろうかなどと、様々な意見交換が実現した。



「地元学」とは

第1分科会

第1分科会のテーマは「ひとが支える地域づくり」

本を読み聞かせ「どんぐりの会」はスタッフ24人で構成する。顔見知りになることで、「地域は君たちを見ているよ」という気持ちを持

第6分科会

第6分科会では、今年ム

トス飯田賞を受賞した4団体が活動報告と今後の課題を発表した。

その1つ「高校戦隊テックレンジャー」で受賞したOIDE長姫高校生は、「多く



テックレンジャーは私たちです

の場所に行く機会が増え、大勢の人と触れ合えた」と報告した。小学生の頃は地域とのつながりは深い、中学、高校と上がるにつれて地域活動から離れていく。4団体の意見が出ていた。

常盤台 食や文化を通じての交流

3月1日、日中文化交流会が常盤台集会所で開催された。今回は常盤台文化展も同時に開催され、雨天の中ではあったが、多くの区民が参加した。

常盤太鼓「心SHIN」の和太鼓が幕が開き、松尾小3年3組の児童による人形劇「オオサンショウウオのいる学校」の公演があった。約30分もの大作で、参加者の拍手が鳴りやまなかった。

その後の交流会では、参加者が用意した餅、おでん、水餃子などを全員で食べながら、飯田の水引は、全国の70%の生産高を占める屈指の伝統文化である。「人と人の心をつ結ぶ」という意味を学習し、地元を誇れる子供を育てることを目的とし、毎年開催されている。

小学生の水引体験教室



水引作りを楽しむ

飯田水引協同組合より渡邊浩平さんをはじめ10人の各事業所の指導者のもと、子供たちはグループに分かれ「淡路結び」のしおり制作に取りかかった。最初は手の置き方や結び方にも戸惑ったが、



オリジナル作品完成!

「自然と笑顔が浮かんだ。何色もある水引の中から好きな色を選んで、3本結びにチャレンジする子供もたくさんいた。お母さんの誕生日プレゼントにするんだ」とおぼあちゃんにもあげよう」と話す子や、「おじいちゃんから教わったことがある」といった感想が聞かれた。

共通の今後の課題は、いかに若い世代に引き継いでもらえるか。「子供から大人までが学びの機会として、こういった団体活動に積極的に参加してほしい」などの意見が出ていた。

寺所区

地域の繁栄願って 今田人形公演

1月25日に寺所高齢者クラブの主催で、今田人形座公演会が寺所コミュニティセンターで行われ約50人が来場した。会長の小林信博さんが「知人の今田人形座座長さんをお願いし今回の公演となった」と挨拶

した。続いて今田人形座座長の澤柳太門さんが、人形座について「宝永元年(1704年)に誕生し、村人が自分たちで操る人形浄瑠璃として、310年続く。現在座員は20名。21歳から100歳まで、幅広い年齢層が集まり活動している」と説明した。

演目は正月ということので「戎舞(えびすまい)」が上演された。この出し物では、御神酒を飲んで上機嫌になっ



若い世代に引き継がれる今田人形座



できたては格別!!

清水区

初めての餅つき大会

1月11日午前11時30分から清水コミュニティセンターで児童約50人、PTA役員など大人16人の参加で餅つき大会が行われた。先に役員が粗つきをし、



うまかつけるかな?

新井さんは「私の子供の頃に相撲大会で景品をもらい嬉しかった記憶がある。今年2月で90歳になるので子供たちに何かしてあげたいと思っていた。子供たちが喜んでもらえ嬉しかった」と笑顔で語った。

子供たちは1人ずつ順番に子供用の小さな杵で2〜3回ついた。初めての子供は真剣な顔でつき、つき終わると笑顔で交代した。用意した3白分のうちの2白は、大きな粉餅にして参加者全員で食べた。残りの1白は役員が切餅にし、子供たちが皆で持ち帰った。

PTA清水区支部長の鈴木和孝さんは「12月のおやす作りの時、指導をお願いした新井順三さんと子供たちの話で餅つきがしたいということになり、新井さんが道具類を一式準備してくれ実現した。ほとんどの子供が初めてで、楽しく体験できて良かった」と話した。

第2回 松尾郷土芸能まつり

～松尾地区の郷土芸能等が一堂に会し共演～

とき 4月18日(土)

12:30～16:00 ※雨天中止

ところ 鳩ヶ嶺八幡宮境内ほか

【出演団体】

- ・上溝囃子屋台保存会
- ・久盛芸能保存会
- ・水城カントリーボーイズ
- ・松流囃子保存会
- ・寺所獅子舞保存会
- ・両壁太鼓
- ・鳩嶺神輿会
- ・代田獅子囃子保存会
- ・毛賀民謡クラブ「なでしこ会」
- ・常盤太鼓「心SHIN」

松尾郷土芸能まつり実行委員会